



志岐高便り

第184号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

[TEL]0920-47-0081

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



日本人を考える

校長 平山 啓一



名実ともに「雪の島」となった先月の寒波を思い出させる日もありましたが、3月が近づくにつれて春の気配がより確かなものになってきました。春は別れの季節ともいいますが、73回生もいよいよ旅立ちのときを迎えました。快適な入り江を出て、これから漕ぎ出す社会という海には、コロナ禍の波以上の荒波もあるでしょうが、73回生の皆さんには「正氣」を持って乗り越えて行って欲しいと思います。

さて、世界中が待ち望んだ新型コロナウイルスのワクチン。日本でも接種が始まりました。私たちが接種できるのはまだ先でしょうが、コロナ禍に光明が差したことは間違いありません。それにしても1年で開発できたという科学の凄さに驚愕します。科学の進歩は、人類の繁栄に計り知れない恩恵を与えてきましたが、科学の持つ負の側面も見逃してはなりません。地球温暖化にマイクロプラスチック問題、そして原発と、私たち人類が抱える深刻な問題もまた科学がもたらしたものです。科学をどう使うか、その判断は私たち人類に委ねられています。

まもなく東日本大震災から十年を迎えます。先日はその余震とみられる震度6強の地震が東北地方で起きました。この十年で生活インフラのほとんどが復旧されていた中で起きた地震。道路を塞ぐ土砂の映像に再び心が痛みました。一日も早く日常を取り戻されることを心からお祈り申し上げます。

ところで、東日本大震災では海外のメディアが驚きと感動を持って日本人の国民性を取り上げました。ブータンのワンチュク国王の演説が思い出されます。「三月の自然災害への対応では、日本及び日本国民は素晴らしい資質を示されました。他国であれば国家を打ち砕き、無秩序、大混乱、そして悲嘆をもたらしたであろう事態に、日本国民の皆様は最悪の状況下でも、静かなる尊厳、自信、規律、心の強さを持って対応されました。文化、伝統的価値にしっかり根ざしたこのような卓越した資質の組み合わせは、現代の世界では他に見いだせないものです。すべての国々がこれを熱望しますが、これは日本人特有の不可分の資質です。これらは数年あるいは数十年で失われるものではありません。そのような力を備えた日本から、世界は大きな恩恵を受けるでしょう。」

一方で、この国民性には危うい側面もあるようです。昭和史研究の第一人者である半藤一利さんは、その危うさが招いた戦争という悲劇を二度と繰り返さぬように、若い世代に向けて5つの教訓を残されました。

「第一に、時の勢いに流されて、すべてが同じ方向を向く国民的熱狂を作ってはならない。言論の自由を死守せよ。第二に、最大の危機において、物事は自分たちの希望するように動く信じ込む日本人気質を警戒せよ。第三に、権力を握ったエリート小集団主義は他を受け入れない、という弊害を心せよ。第四に、絶えず国際的常識の欠如に気を配り、主観的な独善に陥るな。第五に、すぐに成果を求める対処療法的な発想をやめ、長期的かつ複眼的なものの見方を心がけよ。」

「変わることはない人間」が歴史を動かす以上、同じことは繰り返されます。世界に誇るべき国民性には、危うさがあることを十分理解した上で、物事を考え判断し、これからも国際社会を生き抜いていかなければならないのです。卒業する73回生の皆さんはもとより、74・75回生の皆さんも心に留めておいてください。

第 3 学 年 よ り

73回生の皆さん、いよいよ吉崎高校から旅立つ時が来ました。卒業おめでとうございます。吉崎高校で過ごした3年間はどうか。1年次の入学式から始まり、日々の学校生活、体育祭に文化祭、部活動の遠征、そして修学旅行に受験勉強、楽しいことも苦しいこともどれも君たちの力になっていることと思います。4月からはそれぞれ違う道を歩みます。新たな環境の中で、新たな出会いがあり、一方でさまざまな困難が君たちの前に現れることでしょうか。そんなときは、吉崎高校で培った力で、ひとつひとつ乗り越えていってほしいと思います。73回生全員が、4月からさまざまなことに「全力で」励み輝いてくれることを心から願っています。

保護者の皆様におかれましては、これまでのご支援ご協力、本当にありがとうございました。3年間、「全力で創る未来への架け橋」をスローガンに掲げ、「全力」という合言葉のもと教育活動を行ってきました。生徒たちは日々悩みながらも、学習だけでなくさまざまな活動に「全力」で取り組み、大きくたくましく成長してくれました。これもひとえに保護者の皆様の懸命な支えがあったからこそ、成し得たことだと思います。本当にありがとうございました。

最後に、お子様のこれからの活躍と、保護者の皆様のご多幸を祈念し、御礼の言葉といたします。3年間、ご支援ご協力、本当にありがとうございました。



第 2 学 年 よ り

2月22日(月)に修学旅行の代替活動「思い出プロジェクト」を実施しました。活動内容は「コミュニケーションゲーム」「東京パラリンピック競技「ボッチャ」に挑戦」「ミニ競技大会」「クラス対抗演芸大会」「イントロクイズ&格付けチェック」などです。生徒と先生方でそれぞれ企画を出し合い、感染症

対策を講じながら最大限に思い出に残るような取組を目指しました。活動の企画や事前準備、当日の運営については「サポートメンバー」という形で多くの生徒が協力してくれました。一日を通して、生徒達が活発に笑顔で過ごす姿を見て、コロナ禍の中でも少しでも生徒が元気を取り戻す機会になったことを嬉しく思います。また、この企画を通して74回生の絆がより一層深まったことを期待するとともに、今後とも生徒達には主体的に学校行事や社会に関わっていく姿勢を養って欲しいと思います。



第 1 学 年 よ り

学年末考査が終了しました。考査直前の学校開放には77名の参加があり、多くの生徒の積極的な姿勢が見られました。また、1月進研模試の結果がリリースされ、バーチャル入試などの可否結果も発表されるなど、自身の学力を客観的に捉える機会がありました。バーチャル入試の結果はそれぞれでしたが、大学入試の合格通知を受け取る機会が2年後に来ます。この1年間の学習成果を振り返り、次年度に向けて学習姿勢を見直して欲しいと思います。

3年生は卒業式を迎え、75回生もまもなく先輩となります。部活動等の場で誰かを支えられる存在となれるよう、自分磨きを続けてほしいと思います。

学校生活の節目節目に学年集会を実施し、学年団の教員が一人ずつ講話をしています。講話の内容はそれぞれの教員自身の経験に基づいたものですが、お子様が幅広い話を聞き、少しでも今後の進路を考える際の参考になれば願っています。

保護者の皆様、寒暖差の激しい季節で、体に負担のかかる日々ですが、お子様が健康に通学できるよう、引き続きご支援よろしく願いいたします。



壱岐高Topics!

思い出プロジェクト

第2学年の欄にもありましたが、2月22日(月)に、中止になった修学旅行の代替活動として、「思い出プロジェクト」と題して1日かけて様々なイベントを行いました。

感染症拡大防止に努めながら、可能な限り生徒同士がこれまで以上に親睦を深められる場になるようにしました。体を動かす競技大会、頭脳勝負のクイズ大会、そして自分を表現する演芸大会と、バリエーションに富んだ1日となりました。楽しみにしていた修学旅行に行けず落ち込んだ気持ちが切り替えられなかったりしていたので、この企画が気分転換になれば幸いです。



互いに設定したNGワードを避けながら会話するコミュニケーションゲーム



「ボッチャ」での一幕

3月行事予定 ①1年 ②2年 ③3年

1	月	卒業証書授与式 夏時間開始	
2	火	【代休2/28】 任意自学会③	
3	水	特編Ⅲ期開始	
4	木	写真撮影①②(@コモン) 進路講演会①(5校時)②(6校時)	
5	金	特編Ⅲ期終了	SC/ SSW
6	土	土曜学習会①② 任意自学会③ 公務員ガイダンス②	
7	日	任意自学会③	
8	月	入試会場設営 国公立大中期試験 学習会③(壱岐の島ホール)	
9	火	(生徒自宅学習)	
10	水	(生徒自宅学習)	
11	木	(生徒自宅学習)	
12	金	国公立大後期試験	
13	土	学校開放	
14	日		
15	月	LHR(卒業生体験発表)(4校時)	SSW
16	火	総探 校内探究活動シェア会①②(6,7校時)	
17	水		
18	木	(7校時:月曜との振替) ★合格者説明会 ★ホームステイ説明会★星親顔合せ会	
19	金		
20	土	【春分の日】 学校開放	
21	日		
22	月	身体測定・スポーツテスト①②(4~7校時)	
23	火	競技大会①②	
24	水	終業式 大掃除 離任任式	
25	木	学校開放	
26	金	学校開放	
27	土		
28	日	中国語検定①②	
29	月		
30	火		
31	水		

各分掌から

生徒支援部より

第73回生の皆さん、いよいよ卒業の時が来ましたね。3年前、入学した時に思い描いた人物へと成長できましたか。どのような成長ができたのか少し考えてみてください。頭に浮かんだ言葉が、これからのあなた自身を支える力となります。

この一年を振り返った際に「こんな終わり方って・・・」という言葉が浮かんだ人が多かったのではないのでしょうか。3学年は最後の〇〇を経験し、いくつもの「最後」に対して、悔しい思いをした人、涙を流した人は数え切れないと思います。そのような状況の中、無理やりでも「あるだけ、できるだけでも感謝しないと」という気持ちに変えようとしたことでしょうか。今まで当たり前だった日常や気づかなかった小さなことが、実はとても大切なことであり、自分にとってどれだけ素晴らしい人が周りにいて、素晴らしいことが周りにあったらだろうと、当時を振り返り私自身も考えられます。全ての経験が財産です。しっかり前を向いて、それぞれのステージで協力し合って、このコロナ過での経験を将来にいかしましょう。

努力は成功を約束するものではありません。しかし、成長は約束されています。チャンスを掴み取れるか否かは、あなたの姿勢にかかっています。夢を掴むまでひたむきに努力を続け、必ずそれを実現してください。あなたの将来

は、あなた自身が創っていきます。最後に、これからの未来が「感謝と思いやり」にあふれる温かい世の中であることを願っています。

「All is well.」 きっとうまくいく！

進路支援部より

日々の寒さにも幾分か春の気配が感じられる季節となりました。3年生は2月25日、26日に国公立大学前期試験を受けました。他方では私立大学の入試がピークを迎え、慌ただしい毎日を過ごしていると思います。悔いが残らないようにし、最高の卒業式を迎えましょう。

1年生は1月30日に進研記述模試、2年生は2月6、7日に進研マーク模試を受けました。新年度を迎える前に自分の進路と向き合い現状の課題を見つけ、4月に良いスタートが切れるように勉学に励んでください。特に2年生は初めてのマーク模試で慣れない試験に苦戦した人もいるでしょう。マークテストの本番である共通テストまで残り1年を切りました。自分の進路を実現するために計画的な学習をしていきましょう。

我々進路支援部は引き続き生徒諸君の希望進路実現に向けてサポートしていきます。勝負は最後の最後まで分かりません。「合格」を勝ち取るまで粘り強く挑戦を続けてください。

東アジア歴史・中国語 コース

■ 第6回全国高校生中国語発表会で活躍!!

北陸大学主催オンライン限定配信のコンクールが実施。課題文の暗唱を行う中級リーディング部門で2年生の五十嵐元さんが第1位、山賀光晟さんが第5位入賞しました。また、自分で作成した原稿によるスピーチ部門で3年生の市村渉真さんが第2位入賞を果たしました。

■ 3年生講話を実施しました。

卒業を間近に控えた東アジア歴史・中国語コースの3年生全員が後輩に高校生活を振り返ってやってあげよかったことや熱いメッセージを語ってくれました。



3年生講話の様子